

台湾のフルコンを操作したい、それはaRacerの事です。

日本総代理店でもない当店が、説明書らしきものを作りました。

内容は独自に思いついたことで構成してありますので、取り扱い説明書と言うより読み物としてご利用ください。

また、上級モデルは難しいので、入門モデルのmini5 の説明になります。

初めに、aRacer は日々進化していきます、進化するテクノロジーを次々に生み出していきます。

この説明書を作成している間にも、変更項目が出てきます、大まかな操作方法は変わりませんが、表示画面、操作手順、プログラム等の変更が出てきます、いつ変更があるかわからない前提で眺めてください。

さあ、始めましょう!!

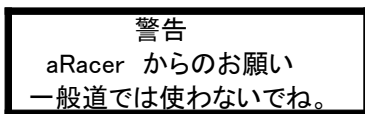
まずは、アプリを購入してスマホにインストールしてください。

有料、無料とありますが無料の物は試しに見ることはできますが、操作することはできません。

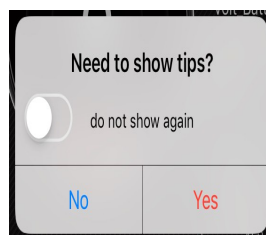
Mini5 を楽しむには有料を選んでください。

インストールしたアプリを起動します、レーシングサウンドと共にアプリが開きモータープロの画面が現れます。

その前にこの様なメッセージが表示されます。



と言われても、ね。

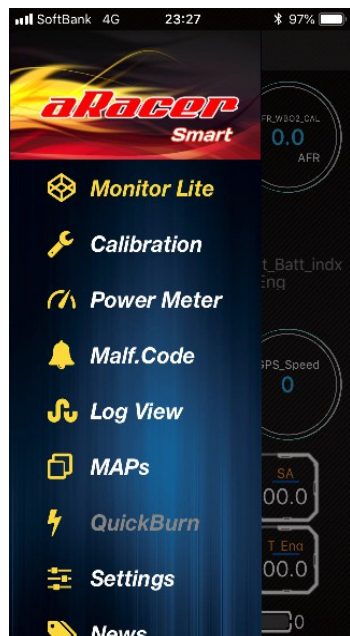


操作のヒントが欲しいですか？
次回から表示しない場合
ボタンを右にスワイプ。
白色から緑色へ
しかし、ヒントは英文です。

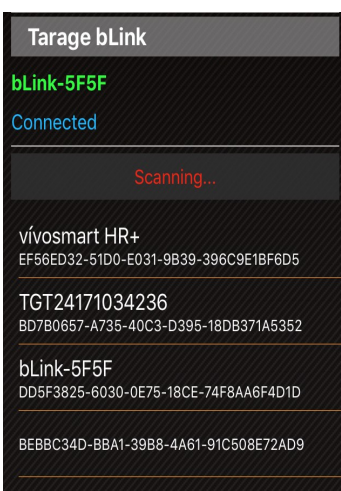
左のボタンを右にスワイプで
次回からメッセージが表示されません。

とにかく青文字をタップで同意します。

aRacer とスマホをつなぎましょう、aRacer のアプリを起動すると、モニタープロの画面が表示されます、画面左より右へ、スワイプすると、サイドメニューが出てきます、これが全体の目次になります、この目次から各設定画面に飛びます。



車両のメインスイッチをONにします、するとaRacer のbLinkに電源が入り接続準備です。
Bluetoothで aRacer とスマホをペアリングします、サイドメニューよりSettings をタップ。
セッティング の画面に替わったところで、接続するbLink を探します。



画面下側 Scanning 欄にいくつかの Bluetooth 接続機器が表示されます、その中から bLink を選びタップするとTarget bLink 欄に移動します。
Android 機の場合ペアリングナンバーを求められますので0000と入力します。
ここからは自動に接続されbLink 文字の 下にConnected と表示されれば、ペアリング完了です。

ペアリングができればトップ画面に戻り、いよいよ操作開始です。

エンジンを始動する前に、mini5 本体に、初めからインストールしてある MAP が車両に適しているか確認します。サイドメニューより、クイックバーンへ移動(クイックバーン項参照)ビークルセッティングの各項目を確認し、違っていれば手順に従い変更します、もし選ぶ項目に、該当項目が現れない場合は、プログレスリングが50%ぐらいの時に、キャンセル(Cancel)をして、もう一度サイドメニューのセッティング (Settings)画面よりは進んでください。キャンセルした場合は、ECUにMAPがダウンロードされていないので、エンジンを始動することは出来ません。

次にTPS Learn (スロットル開度)を確認します、サイドメニューのキャリブレーションより一番下の17、TPS Learnを選びます、スロットルリング図下側、Start Learningをタップすると、Please wide open Throttle と表示が出ます、ゆっくりとスロットルを開けていきます、100%と表示されたら、またゆっくり戻します、これでスロットル開度の学習が出来ました、これでエンジンを始動できます。

排気量とインジェクター要領がインストールしたマップと違う場合、サイドメニューの1、フューエルベースで補正します。

マップのデータが、排気量155ccでインジェクターが120ccの場合

車両は排気量が178ccにボアアップしているので 155cc から 178cc に増加 $178/155 \times 100 = 114.8\%$

インジェクターは130ccに交換しているの 120cc から 130cc に増加 $130/120 \times 100 = 108.3\%$

よってフューエルベースは $114/108 \times 100 = 105.5$ を入力します。

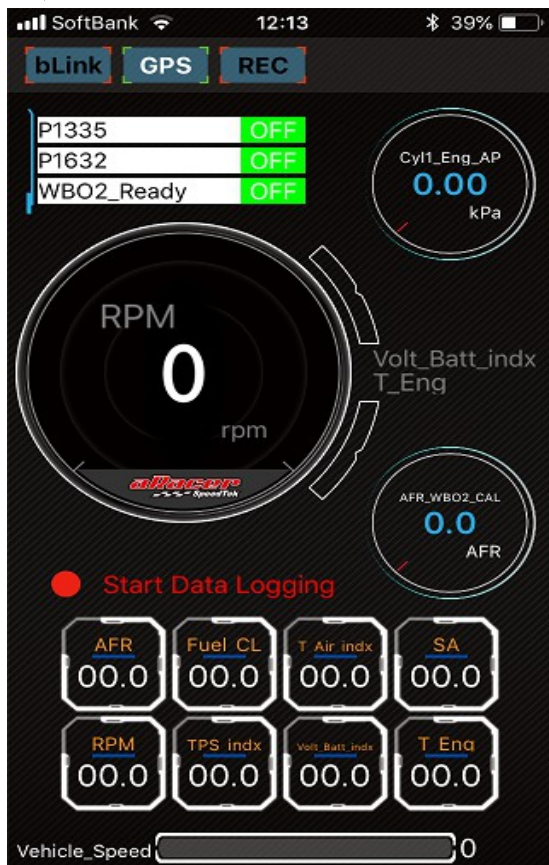
また、各回転域による細かな調整は 2、Fuel Adjus で調整します、これをベースに 12、オートチューンでマップを作ります。

出来上がったマップは、13、WBO2CL にてクローズドループ補正で使用します。(詳しくは各項目参照)

入力値を入れてオートチューンでターゲットAFRまで補正できない場合は、フューエルベースで補正してください。

これで、mini5 を自在に操ることが出来ます、わくわくを楽しんでください。

モニタープロ



bLink スマホとbLinkがBluetoothに接続された時点灯

GPS GPSに接続されている時点灯

REC Loggingしている時点灯

丸メーター(3ケ)とバーメーター(2ケ)はロングタップすることで、下段の各データ値 (パラメータ値) と入れ替えることが出来ます。

●Start Date Logging

この赤文字をタップすることでロギングが始まり、表示文字が、ロギング時間表示に替わります。途中でデータの変更(燃料の増減など)をすると、ロギングが中断します。
←各計測値(パラメータ値)の詳細は別紙にて、パラメータをスワイプすると他のパラメータが移動して来ます、全部で30項目のパラメータのチェックできます。

Vehicle Speed

車両速度、但しECUがスピードを感知していないと作動不可。
(ギアボックスが電気式の物)



この3種類の表示はロングタップするとEngine Variable Selection内のデータと入れ替えができます、Engine Variable Selectionは Malf Code (故障コード) も含まれているため、故障診断表としても便利。

Parameters 各種計測値(パラメータ)

Parameters	表示項目	表示単位	内容
20	AFR	AFR	システム空燃比、ATもしくは クローズドループ時の目標値
7	Fuel.CL (O2Close loop Correction value)	%	クローズドループ時の補正值
29	T.Air indx (inlet temp)	℃	吸気温度
16	SA (spark angle)	SA	点火時期
12	RPM	rpm	エンジン回転数
28	TPS indx	count	スロットル指数 100%→164
1	Volt.Batt indx (Battary voltage)	V	バッテリー電圧
11	T.Eng (Engine temp)	℃	エンジン温度 (水温もしくは油温)
23	TPS percent (TPS open percentage)	%	スロットル開度
6	Cyl1_comn_Fuel PW (Cylinder1 fuel pulse width)	ms	燃料パルス幅
24	P Atm (Atmosphere)	kPs	大気圧 基準値100 (1013 hPa)
5	Cyl1_Eng_AP (Cylinder1 air pressure)	kPs	シリンダー吸気圧
18	NBO2 Volt (NB O2 voltage)	mV	ナローバンド電圧
22	Vehicle_Speed	km/Hr	車両速度
8	AFR_WB O2_CAL (WB O2 AFR)	AFR	ワイドバンド空燃比
30	Acc_Fuel_Mult (Acceleration fuel multiplien)	Times(BPW)	加速燃料係数 加速
27	NB O2_AD	A/Dcount	ナローバンドデジタル値
21	Cyl1 VM (Cylinder1 volume mass)	factor	シリンダー実行排気量
13	Miss_CRK_Cnt (Crank miss counter)	counter	失火カウンター
26	ISC_AIR_Flow (isc air flow %)	%	アイドルスピードコントロールバルブの 空気流量率
10	idle_Desir_RPM (idle desired RPM)	rpm	目標アイドル回転数
4	Cyl1_injectorPeriod_Rate (injector1 usage rate)	%	インジェクター使用率 標準値全開時70%～85%ぐらい
15	iAF1_B_AFR (WB O2 AFR B)	AFR	ワイドバンド空燃比 B
25	Gear NUM	Gear	ギアポジション
17	ETC_APS_Percent	%	アクセルポジションセンサーの開度 (エレクトロニックスロットル)
	GPS_Speed	km/h	GPS 速度

	GPS_latitude	NA	GPS 緯度
	GPS_longitude	NA	GPS 経度
	GPS_Altitude	m	GPS 高度
	GPS_Time	NA	GPS 時間
3	Time		

Engine Variable Selection (MALF.Code を含む)

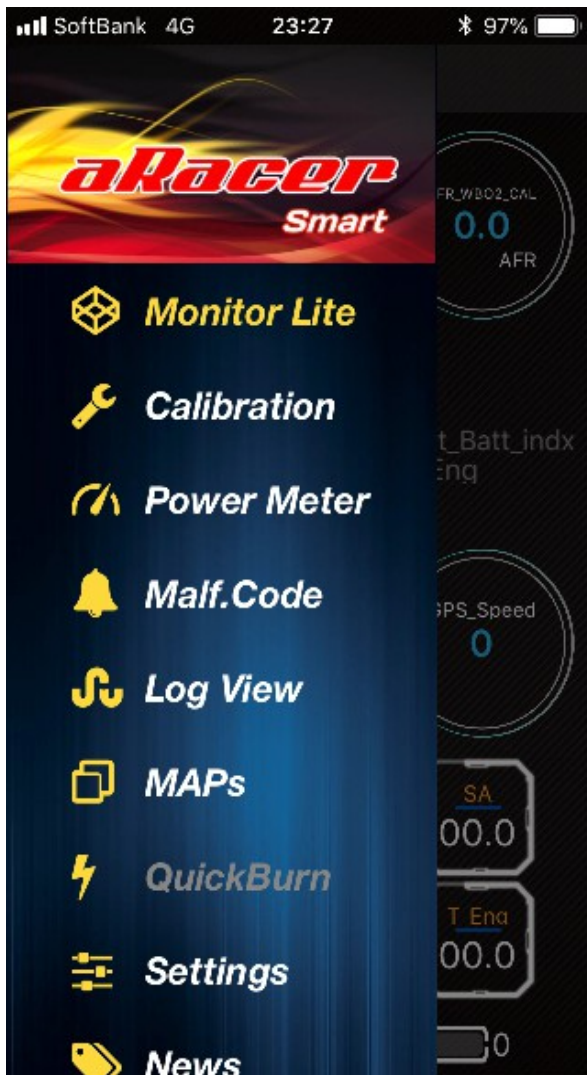
(エンジンの可変的な選択)

Status	コード	コード内容	parameters
	Dec_FC_En	減速時燃料カット	14
	Power_En	パワーモードを出来るようにする(スロットル全開モード)	2
	WBO2_AT_En	ワイドバンドO2 によるオートチューン(燃料自動調整)	9
	WBO2_Ready	ワイドバンドO2 作業準備完了	19
45	P0106	圧力センサー関連の問題	
5	P0107	圧力センサーの断線	
36	P0108	圧力センサーとバッテリー間のショート	
15	P0112	吸気温度センサーがアースにショート	
47	P0113	吸気温度センサーの断線	
30	P0117	エンジン温度センサーがアースにショート	
62	P0118	エンジン温度センサーの断線	
34	P0563	バッテリー電圧が高すぎ(過充電)	
42	P0122	TPSセンサーの断線	
2	P0123	TPSセンサーとバッテリー間のショート	
38	P0131	ナローバンドO2センサーがアースにショート	
65	P0132	ナローバンドO2センサーがバッテリー間でショート	
60	P0134	ナローバンドO2センサーが無応答	
31	P0231	フューエルポンプ断線	
63	P0232	フューエルポンプとバッテリー間でショート	
4	P0601	EEPROMのエラー(記憶内容が出来書き換え可能、Offにしても消えないROM)	
51	P0261	インジェクターの断線	
13	P0262	インジェクターとバッテリー間のショート	
18	P0351	イグニッションコイルとバッテリー間のショート	
49	P0650	EFI インジェクターとバッテリー間のショート	
33	P0654	タコメータとバッテリー間のショート	
11	P1351	イグニッションコイルの断線	
39	P1650	EFI (電子燃料噴射装置)インジェクターの断線	
25	P1654	タコメータの断線	
12	P0298	エンジンオーバーヒート	
20	P0335	クランク角センサーの問題	
23	P0508	アイドルスピードコントロールバルブ断線	
55	P0509	アイドルスピードコントロールバルブとバッテリー間のショート	
25	P1117	—	
56	P1118	—	
27	P1499	マフラーの温度が高すぎ	
21	P1620	—	
6	P0264	シリンダー2のインジェクターの断線	
40	P0265	シリンダー2のインジェクターとバッテリー間のショート	
53	P0352	シリンダー2イグニッションコイルとバッテリー間のショート	
28	P1131	ナローバンドの空燃比が薄い	
59	P1132	ナローバンドの空燃比が濃い	
14	P1335	クランク角センサーが断線	
44	P1352	シリンダー2のイグニッションコイル断線	
41	P1500	傾斜センサーが作動	
24	P0135	ナローバンドO2センサーのヒーターとバッテリー間のショート	
37	P0222	スロットルポジションセンサー2の断線もしくはアースにショート	
66	P0223	スロットルポジションセンサー2とバッテリー間のショート	
46	P0263	インジェクターノズルの使用率が高すぎる(特に高回転域で噴射が追い付かない)	
64	P0505	—	
3	P0660	サブスロットルアクチュエーターの合理性	
19	P1135	ナローバンドO2センサーのヒーター回路断線	
50	P1509	—	
17	P1574	スロットルポジションセンサー1と2が一致しない	
54	P1630	エアプレッシャーセンサー1の断線	

16	P1631	エアープレッシャーセンサー1とバッテリー間のショート
48	P1632	TPSまたはAPS 5V関連故障
8	P1633	エアープレッシャーセンサー2の断線
41	P1634	エアープレッシャーセンサー2とバッテリー間のショート
58	P1639	エアープレッシャーセンサーの1と2が一致しない
7	P0560	エレクトリックスロットルの電圧停止
1	P0562	エレクトリックスロットルの電圧制限
67	P1121	エレクトリックスロットルのモーターの断線
26	P1124	エレクトリックスロットルのリレー障害(ON側)
57	P1125	エレクトリックスロットルのモーターの誤動作
22	P1126	エレクトリックスロットルのリレー障害(OFF側)
9	P1585	エレクトリックスロットルのプロセッサの誤動作
35	P1588	エレクトリックスロットルのリターンズプリングの誤動作
29	Malf_On	故障(誤作動)
61	Eng_Over_Heat	エンジンオーバーヒート
32	Neutral_SW	ニュートラルスイッチ オン
52	VVA	可変バルブシステム

aRacer mini 5 サイドメニュー

画面左よりスワイプするとサイドメニューが出て来ます。



モニター画面

プロとライトの入れ替え

キャリブレーション

各種設定値及び調整池の変更画面

パワーメーター

走行記録を分析

マルフコード表示

故障診断コード表示(マルフコード表参照)
問題が起こった場合、診断コードが表示されます

ログ ビュー

ロギングデータ表示

マップス

保存マップ表示

クイックバーン

ECUの基本データ取り込み画面
スマホとECUを接続しないと作動しない

セッティング

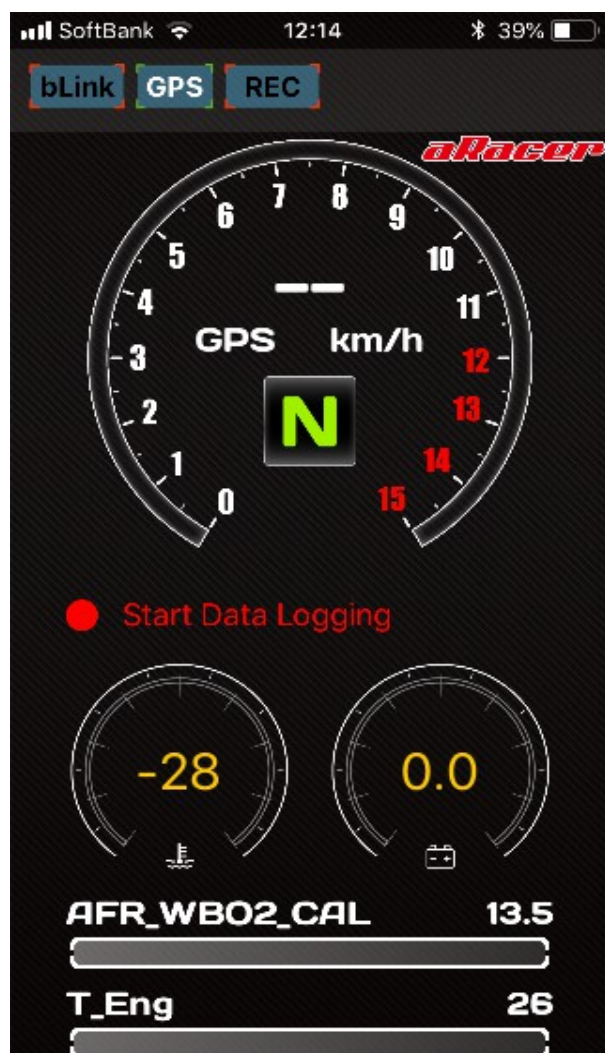
GPSとbLinkの接続その他

ニュース

各種マニュアルダウンロードと
コマーシャル

モニターライト

シンプルなモニター表示



GPS機能をオンにしたら、スピードメーターをロングタップしてGPS速度に切り替えます。GPSをONにするにはサイドメニューのSettingsより切り替えます。

Start Data Logging この赤文字をタップするとロギング(車両データーの記録)開始です。開始と同時に、時間が表示されます。

ロングタップするとそれぞれのバーグラフを他のパラメーターへ入れ替えられます。

キャリブレーション(校正、調整)

(1~4項目)



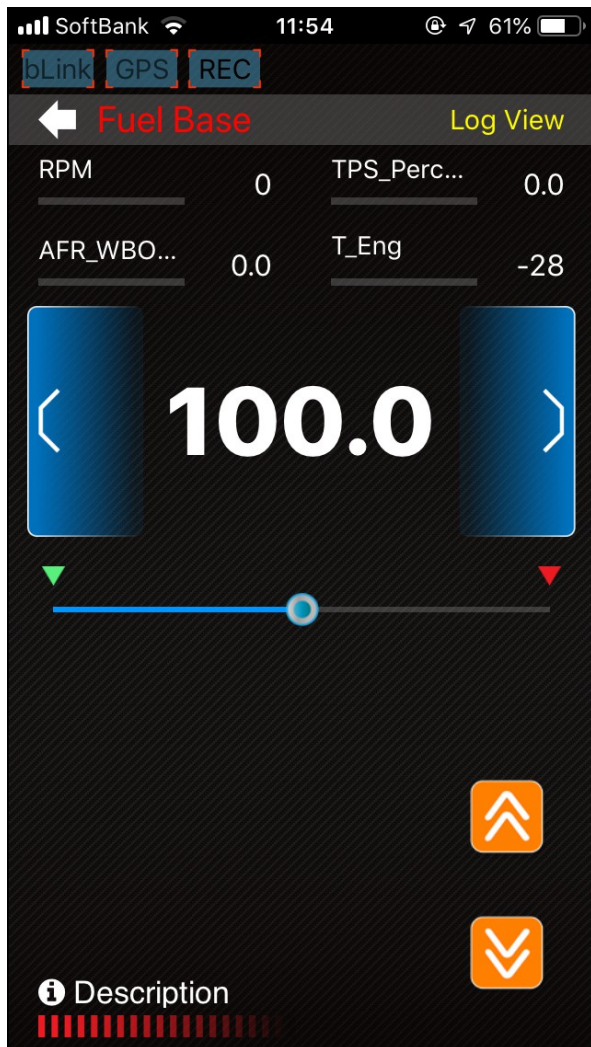
フューエル

- 1、全体の燃料増減(%)
- 2、個々の回転域の増減
- 3、ターゲットAFR
- 4、加速ポンプ
加速燃料%を増加してスロットルレスポンスを改善させます、100が基準です。
- 5、温度補正調整

スパーク

- 6、点火時期調整
+は点火時期を進角、-は点火時期を遅角させます。
調整幅は、最大10°です。
- 7、バックファイヤー機能設定

1、フューエルベース



←Log Viewをタップするとロギングデータが表示されます。

←4項目の数値はロングタップで他のパラメータへ入れ替えることができます。

※空燃比 (AFR_WBO2_CAL)を見ながら操作すると分かりやすいと思います。

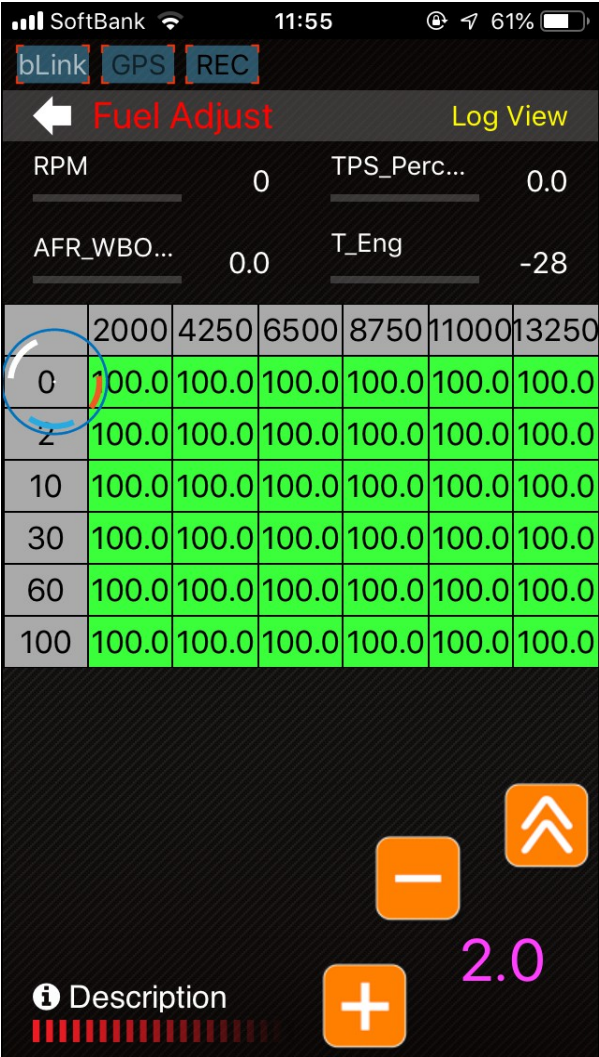
基本は100%それより
何パーセント増減するかを調整します。
110は10%燃料増加、90は10%燃料減少させます。

変更数字が白文字の場合はECUに送信されており
赤文字の場合はまだECUに送信されていません。

転送ボタン: 現在の値をECUに転送します。

リードバックボタン: ECUから値を読み込みます。

2、フューエルアジャスト



←Log Viewをタップするとロギングデータが表示されます。

←4項目の数値はロングタップで他のパラメータへ入れ替えることができます。

燃料係数を、縦軸 スロットル開度(%)と横軸 回転数(rpm)で補正します。
110は10%燃料増加、90は10%燃料減少させます。

変更する枠をタップすると、色が変わり確定となります。
青○印(ダイナミックトラッキング)が、エンジン回転とスロットル開度によりMAPの位置を示します。



入力されている数字に対しそれぞれの計算が出来ます。



選択した値を平準化します。



選択した値を水平方向または垂直方向に線形化します。



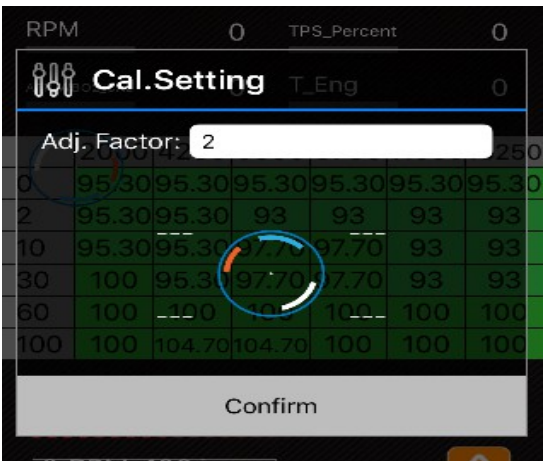
現在の値をECUに転送します。



ECUから値を読み込みます。

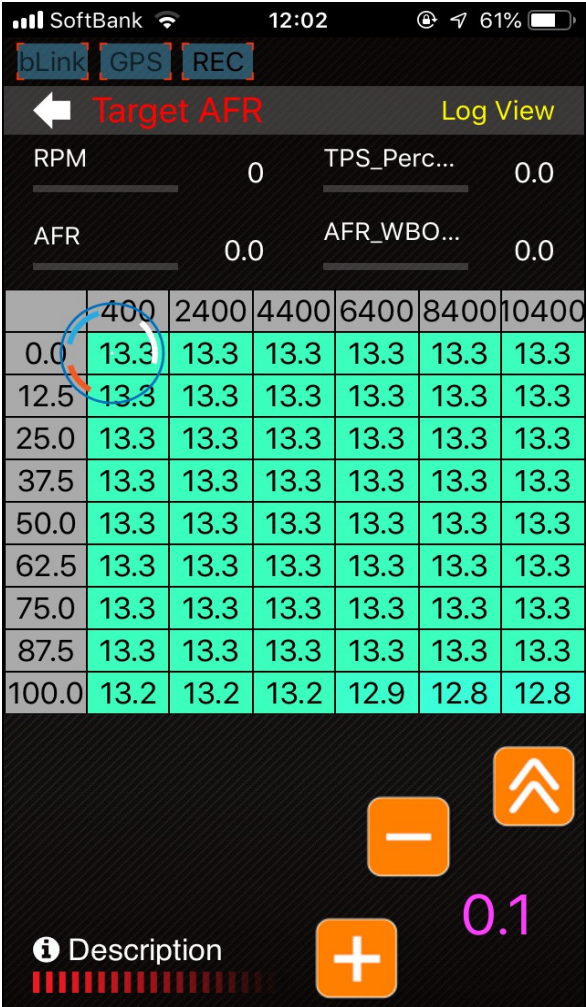
※オレンジのボタンはタップして移動させることにより隠れているボタンが現れます。

右下の数字をタップすると下のCal .Settingが現れ、Adj.Factorに数字を入力しConfirmをタップする事で計算する数値の変更ができます。



またダイナミックトラッキングの4隅にはパラメータを表示することが出来ます、--- 印をロングタップすることでパラメータメニューが表示され選択することが出来ます。

3、ターゲットAFR



※AF-1を取り付けていない場合でもTarget AFRの数値は重要です、AF-1以外の検出されたデータでECUは演算しマップを補正していきます。

←Log Viewをタップするとロギングデータが表示されます。

←4項目の数値はロングタップで他のパラメータへ入れ替えることができます。

AF-1の検出データーをもとに記入された目標空燃比にECUのデーターを補正していきます。
ATで作ったデーターを検証するには、AT,WBO2CL共にOFFにしてAF-1からの空燃比データーで検証します。
Fuel Base、Fuel Adj の数値はATで作るマップに反映します。
ATで作ったデーターがTarget AFRに近いと補正値が少なくて済みます。



入力されている数字に対しそれぞれの計算が出来ます。



選択した値を平準化します。



選択した値を水平方向または垂直方向に線形化します。



現在の値をECUに転送します。

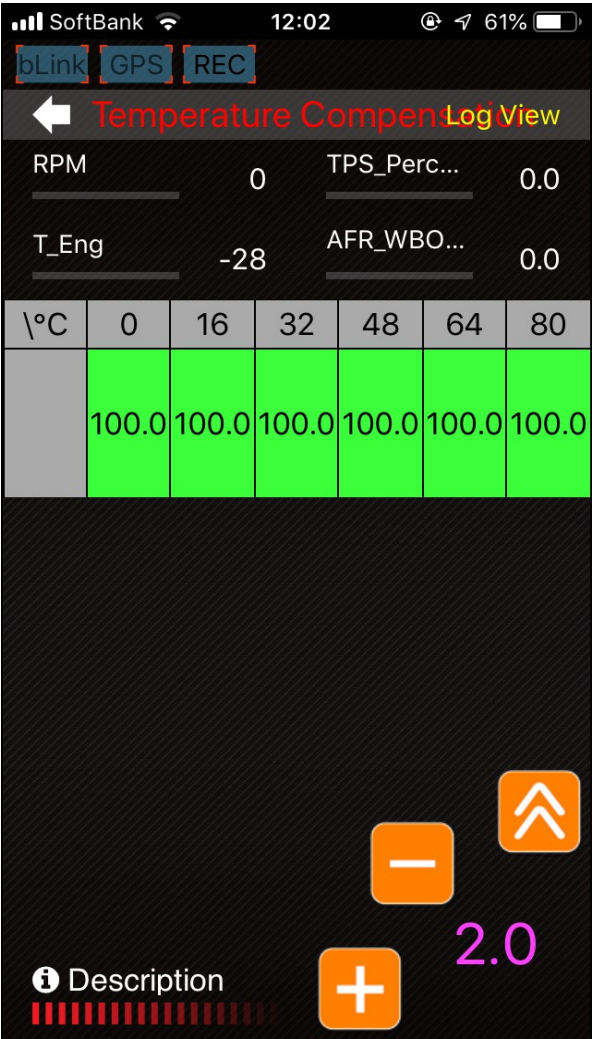


ECUから値を読み込みます。

※オレンジのボタンはタップして移動させることにより隠れているボタンが現れます。

右下の数字をタップすると下のCal .Settingが現れ、Adj.Factorに数字を入力しConfirmをタップする事で計算する数値の変更ができます。

5、テンブ コンブ



←Log Viewをタップするとロギングデータが表示されます。

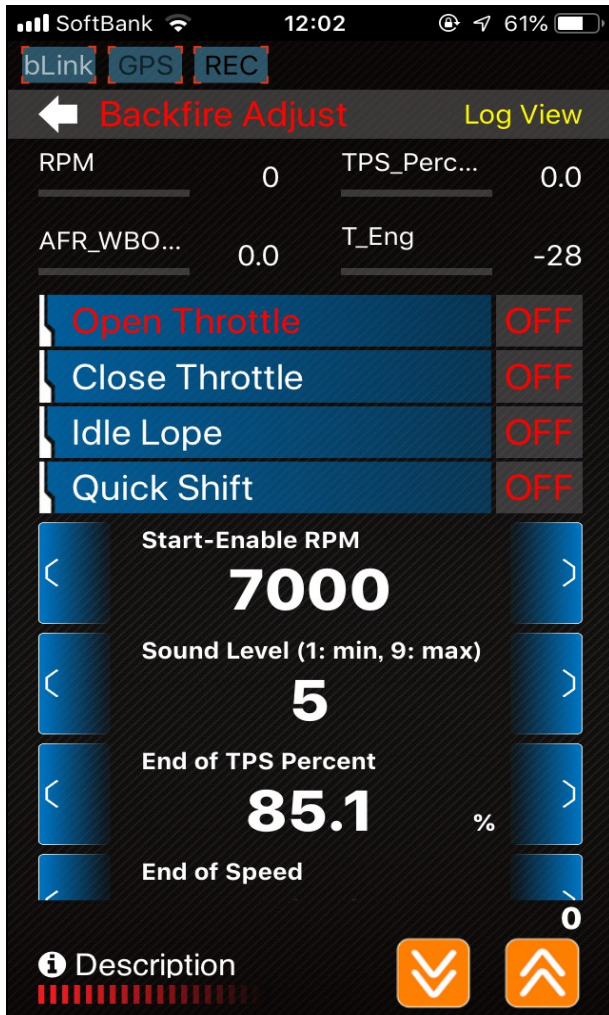
←4項目の数値はロングタップで他のパラメータへ入れ替えることができます。

基本は100%それより
何パーセント増減するかを調整します。
110は10%燃料増加、90は10%燃料減少させます。

冬場などで外気温が低く粘度の高いオイルを使用の場合などに有効と思われます、ECUには温度補正が有るので個々の状況で使ってください。

変更数字が白文字の場合はECUに送信されており
赤文字の場合はまだECUに送信されていません。
転送ボタン:現在の値をECUに転送します。

7、バック ファイヤー



←Log Viewをタップするとロギングデータが表示されます。

←4項目の数値はロングタップで他のパラメータへ入れ替えることができます。

アクセルを開けた時、閉じた時のバックファイヤーコントロール。

アイドリング時のリズム遊び。

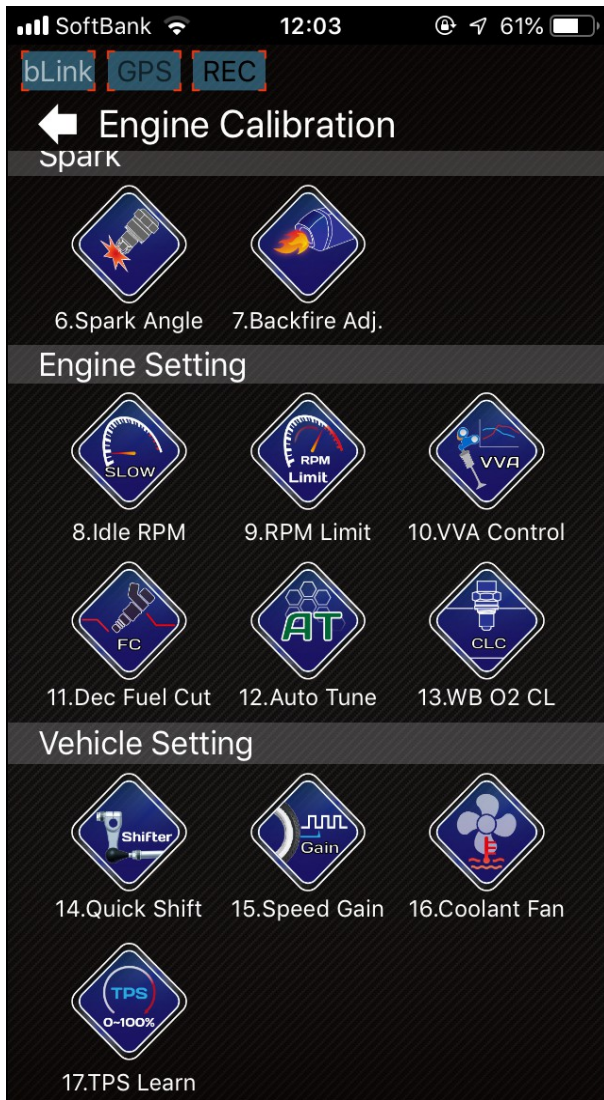
クイックシフター装着車専用機構。

基本的にエンジンにはあまり良くありませんので
ほどほどに遊んでください。

変更数字が白文字の場合はECUに送信されており
赤文字の場合はまだECUに送信されていません。
転送ボタン:現在の値をECUに転送します。

キャリブレーション(校正、調整)

(5～10項目)



エンジンセッティング

8、アイドリング回転数

9、最大回転数リミット

10、VVA回転値調整(N-MAXのみ)

11、減速時の燃料カット切り替え

ON:減速時に燃料カットする場合、より多くのエンジンブレーキが効き、また燃費向上にも役立ちます。

OFF:燃料カットをしない場合、レスポンスの向上、エンブレのスムーズ化が見込めます。

以下の2項目はAF-1モジュールが必要

12、オートチューン

ワイドバンドの空燃比計測値により空燃比が自動調整されます。

これによりベースマップを作ります

このデーターはECUに記憶されます。

13、クローズドループ

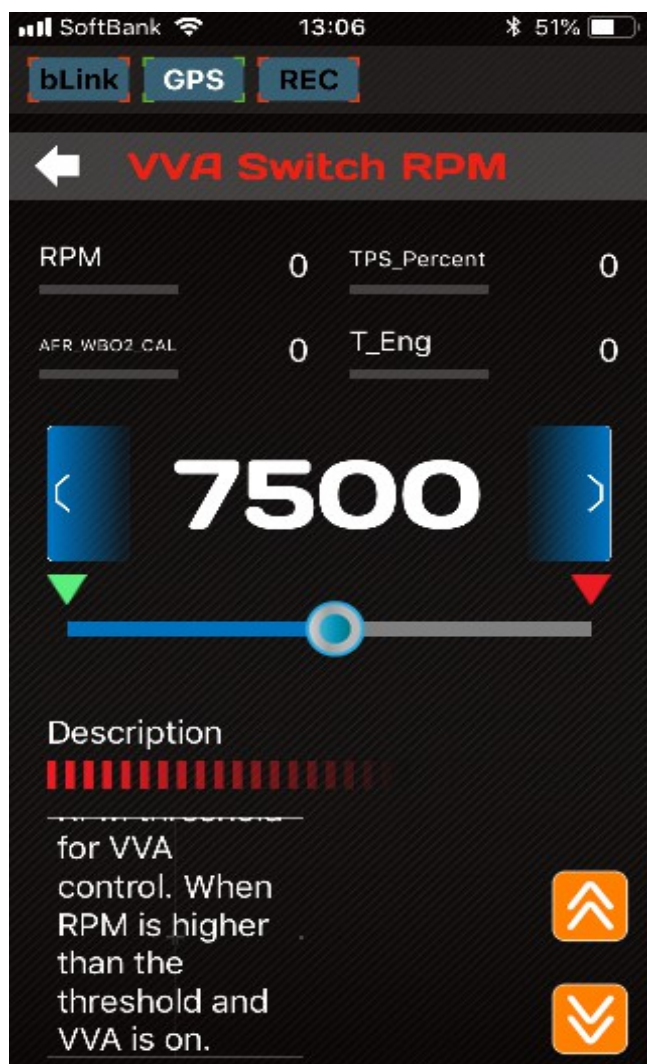
オートチューンで作ったマップを走行状態に合わせ補正していきます、メインスイッチをOFFすると補正した部分は消去され、最初のベースマップは保存されます。

10 VVA

バリエابل・バルブ・アクチュエーション： ヤマハエンジンの特殊なバルブ機構の名称

N-MAX125、155のエンジンのバルブ機構で、指定エンジン回転数より、低速カムから高速カムに切り替わります。

切り替わる回転数を任意に設定できます。 調整範囲は3000rpm～16000rpmです。



12、オートチューン(AT)



ATは、燃料マップを自動で作成する機能です。
ECU取り付け初期や、エンジン、駆動系など
変更後にはATによりマップを作ります。
これは、クイックバーンにてインストールしたマップを
ベースに個々のマシンの状態にあったマップに
修正していく作業です。
クローズドループを使用すれば、目標とする
空燃比に近けますが、補正幅は少ない方が
理想的なエンジンコンディションになるはずです。

初めに目標空燃比を決めておきます、
(Target AFR 項参照)
この設定を目標値として書き換えが始まります。

書き換えが実行されるには3条件があります。

左の Malf、T_Eng、WBO2のインジケータが
全て緑であること、一つでも赤があると不可。

Malf : 故障警告

T_Eng : 油温もしくは水温が60～130度

WBO2 : AF-1正常作動

一度のデータ収集時間は180秒(3分)です。
時間を過ぎると時間ごとに更新されてしまいます。
マップ中央部をタップすると収集時間を調整できます。
各回転域を3秒以上固定しながら学習させます。
なるべく回転域を細かくした方が、正確なマップを
作ることが出来ます。
急激なアクセルワークは収集データに誤差が
出てしまいます、マップの赤丸部です。
この時の目標空燃比は13ぐらいですので、緑色
の丸印だけのはず。

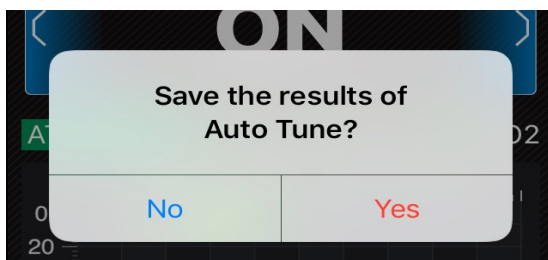
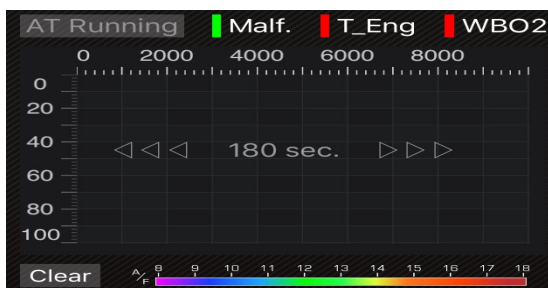
データ収集が終わったのなら、ATをOFFにします。
OFFにすると自動調整の結果を保存しますか？
と確認してくるので、YesをタップしてAT完了です。

更にセッティングを詰めるのであればFuel Adj で
調整します。

マップが正しいかの確認はATをOFFの状態で行き
目標空燃比に実際の空燃比 (AFR_WBO2_CAL) が
合っていれば正確なATマップと言えます。

つぎは作ったマップをクローズドループで使いましょう。
まず、AT を OFFにします、そしてクローズドループ項
に進みクローズドループ (WB O2 CL) を ON にします
これで、AT で作ったマップの使用開始です。

AT,CL 共にOFFでも急激なエンジントラブルの原因
にはなりません、環境に合わせプログラムされた演算
で補正を掛けるからですが、AT で細かくマップを作る
ことが一番です。



キャリブレーション(校正、調整)

(11~14項目)



ピークルセッティング

11、クイックシフターの設定

12、車速補正

GPSメーターなどで確認 0.1で10%補正

13、冷却ファン作動温度設定

14、スロットルポジションセンサー校正

Start Learning を押した後

スロットルを全開にしてTPSの校正を実行します。

Power Test

aRacer の魅力の一つ、車両のテストです、これは最大出力、最大トルク、区間内の到達時間などを測定できます。まず測定するための必要データーを入力します。

Power Test

VEHICLE POWER CURVE ACC. TEST RESULTS

Create New Vehicle Profile

Name:

Manufacture:

Mode:

Transmission: Gear CVT

Engine Displa... c.c.

Total Weight: Kg

Cancel Create

Profile Name:tkt
Vehicle:yamaha nmax
Parameters:183 c.c., 127 Kg, CVT
Profile Name:tkt_a
Vehicle:YAMAHA N_MAX
Parameters:178 c.c., 197 Kg, CVT

サイドメニューのPower Meter を タップすると黒い画面が現れます、右下の緑+をタップすると入力画面に替わります。各項目に入力していきます、Total Weight は車両重量に自分の体重を合わせた数値で良いと思います。項目の Gear はギア車 CVT はスクータです、入力終了後 Create をタップすることでデーターが保存されます。これで基本情報が保存されました、基本情報は複数作成できます、画面上部のVEHICLE(ビークル)で確認できます。

Power Test

VEHICLE POWER CURVE ACC. TEST RESULTS

Vehicle Profile tkt_a

Speed Source ECU GPS Race GPS

Transmission CVT

Test Range 30 - 120 km/h

Test time must be more than 5 sec

Status

ECU Connect

START

Vehicle Profile tkt_a

Speed Source ECU GPS Race GPS

Transmission CVT

Test Range 30 - 100 km/h

Test time must be more than 5 sec

Status

ECU Connect

START

Vehicle Profile tkt_a

Speed Source ECU GPS Race GPS

Test Range 0 - 100 km/h

Test time must be more than 5 sec

Status

ECU Connect

GPS Ready

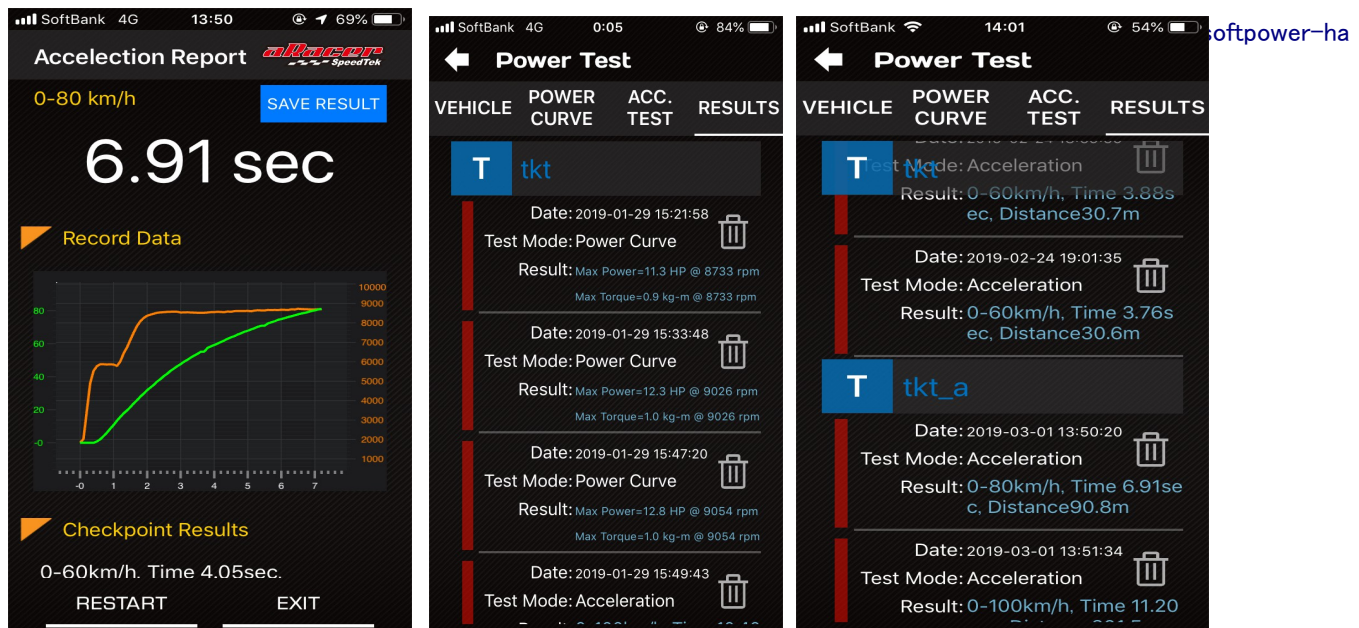
START

POWER CURVE(パワーカーブ)は、基本データー入力時に 選択した項目により表示単位が異なります。Gear はrpm をCVT はKm/h を表示します。区間の数値の変化を測定しグラフ化します。測定レンジはバーボタンをスライドすることで替えることができます、測定時間は5秒以上でなければ保存できません。次に ACC TEST(アクセレーション)も同様にレンジを調整することができます、設定速度以上にならないと保存しません。POWER CURVE(パワーカーブ)、ACC TEST(アクセレーションテスト)は同時に測定することはできません。それぞれレンジを確定して画面下のSTARTをタップします、車両が動き出すと測定開始です。

Power Test

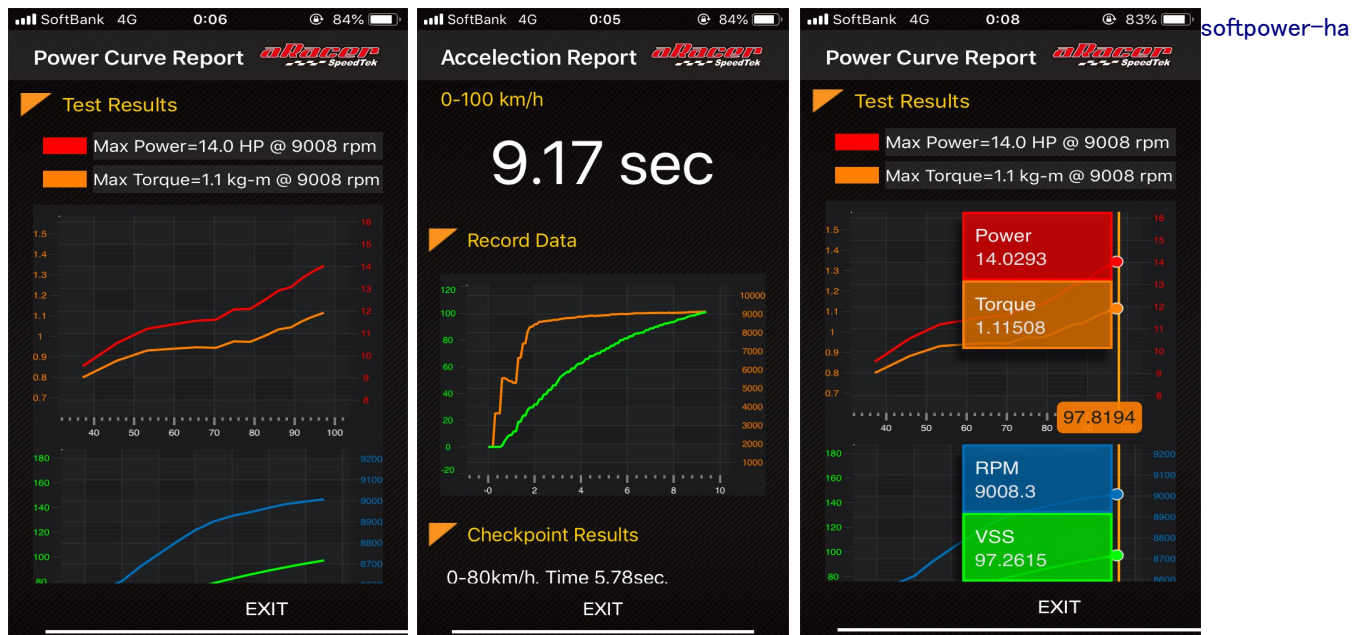


STARTボタン文字色が青色でない場合はECUかGPSが接続されていません。
 STARTボタンをタップすると,READY TO GO 画面に替り準備OKです、アクセルワイドオープン !!
 設定数値に達すると自動的に測定が終了しCOMPLETED の画面に替わります,達しない場合はTIME OVERです。
 安全に停止して、画面右下のREPORTボタンをタップします。

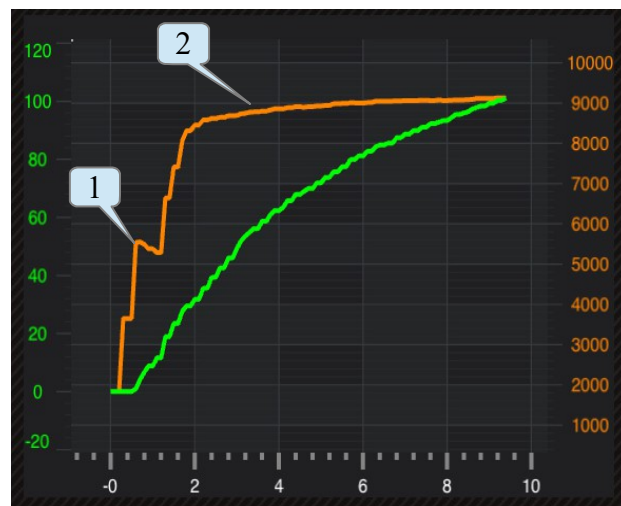
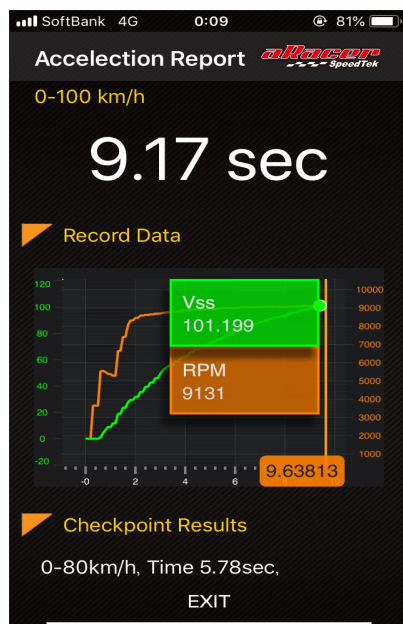


REPORTボタンをタップすると画面右上のSAVE RESULTが青く点灯します、そこをタップすると保存終了です。
 上部メニューボタンのRESULTSをタップすると、保存データの一覧が表示されます。
 初めに入力した基本データごとに分かれて、データは保存されています。

Power Test



保存したデータータをタップするとそれぞれのデータータが表示されます、各測定値が色分けされているので見やすいかと思いますが、グラフ上をドラッグすることでその時の数値が表示され、各通過点毎確認できます。

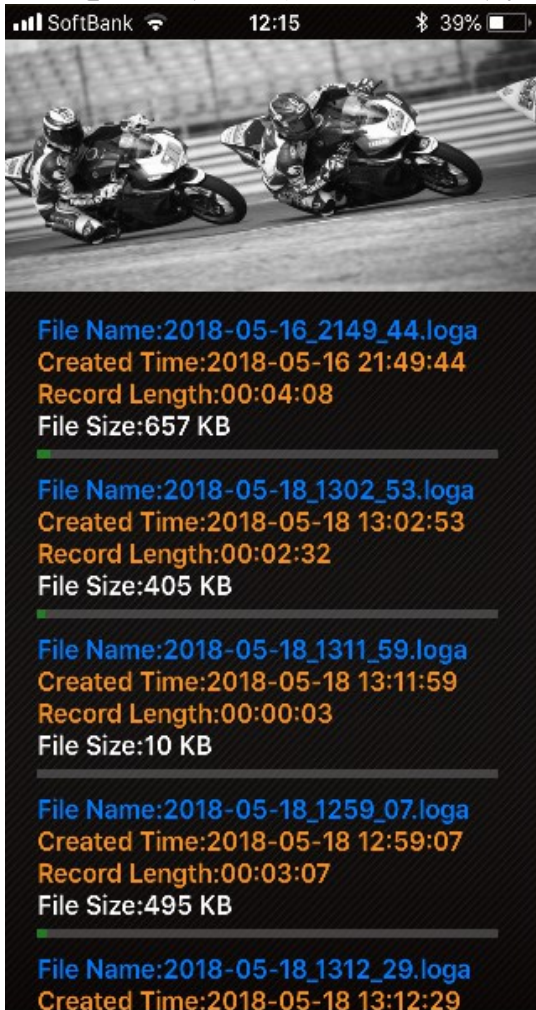


アクセレーションのグラフではCVTの駆動系セッティングの目安として見る事ができます、クラッチがつながる回転数①と変速して行くときの回転数の推移②などが読み取れます、また変速終了して回転が伸びていく状況も読み取れます、このグラフはまだ変速終了していませんもう少し車速がつくとオレンジのラインが上昇していきます。

ロギングデータ一覧

ロギングされたデータはここに一覧となります。

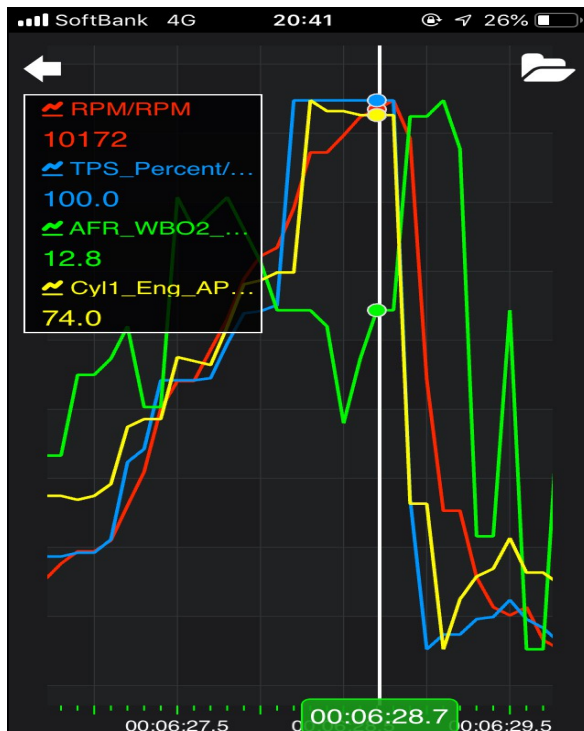
データをクリックするとグラフ画面に進みます。



ロギングデータグラフ画面

ロギングデータをクリックすると指示されたデータがグラフとなります(4データ)

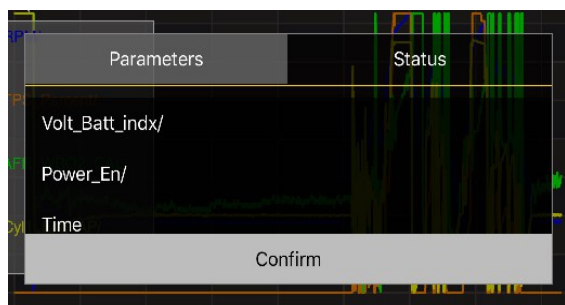
さらに数値部分をロングタップすると、他のデータに替えることができます。



グラフはピンチアウトすることにより間隔が広がります。
カーソルを移動して数値を読み取るには1秒間タップして下さい、画面にカーソルが現れます。
さらに、そのカーソルを1秒タップして移動するとカーソルの位置を動かすことができます。
フルレビューに戻るにはダブルタップしてください。

ロギングデータの置き換え

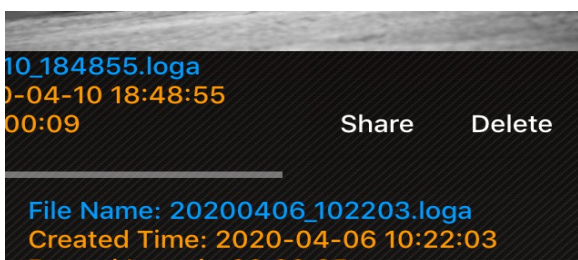
他のデータが表示されるのでタップすると置き換えられます。



Parameters : 各種計測値 (P,2)

Status : 故障状況、原因、誤作動 (P,4)

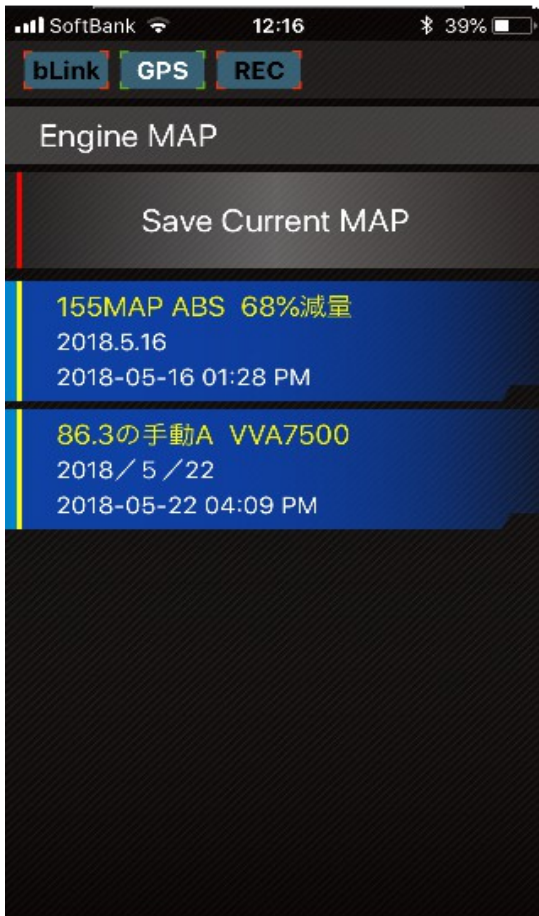
データの送信、削除



データを左にスワイプすると、シェアとデリートが現れます。
シェアは同じ mini5 を使用する友人に送ることができます。
これは次の項のマップも同様です

マップデータ

作ったMAPデータを保存できます。

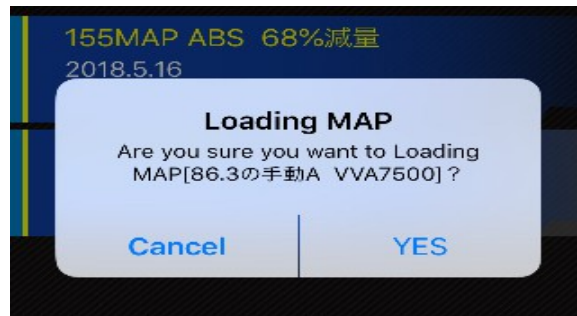


Save Current MAP を

タップすることで、現在使用中のマップを保存でき、MAP名、メモなどを書き込み Saveをタップ。

保存したMAPを、読み込むには

青色のMAPをタップすると、Loading MAPと表示されるので、指示に従い進みます。

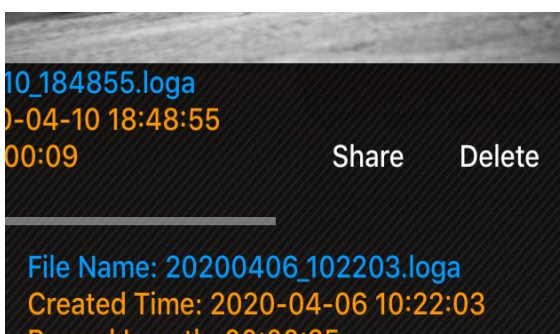


MAPの送信、削除

保存MAPを左へスワイプする。

Shareメール、ラインに送信、保存

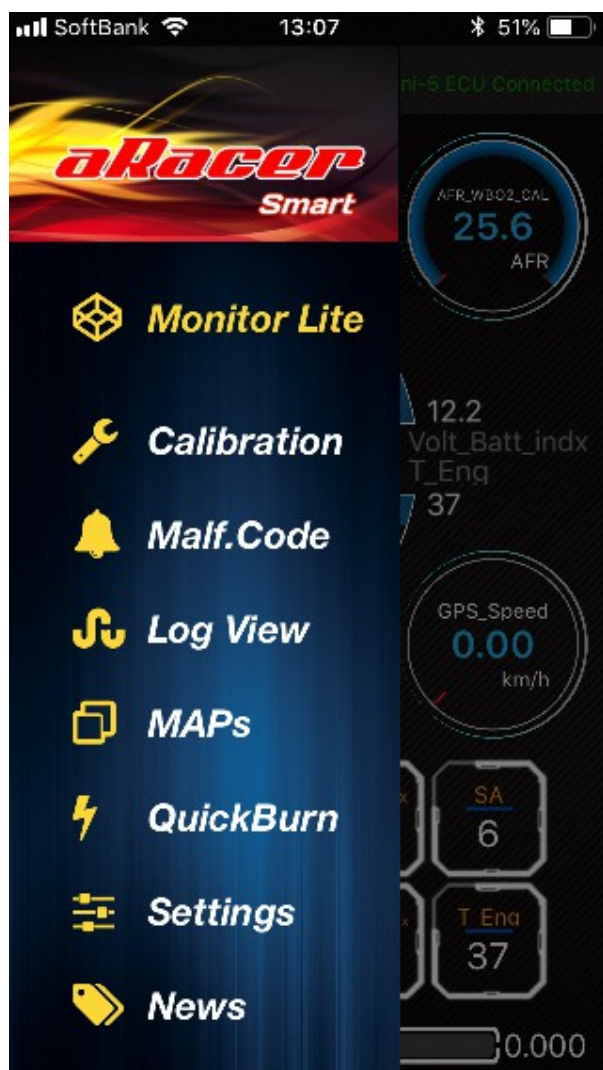
Delete削除



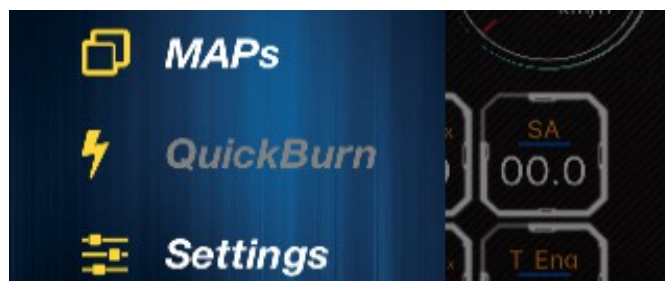
シェアでこの画面より送り方を選ぶ、送られた側はこの画面の中に aRacer のアイコンが現れます、それをタップ。



クイックバーン



ECU内部のデーターを全て入れ替えます
bLinkにより車両とスマホが接続すると
QuickBurn の文字が灰色から点灯します
この文字をタップすることで次の画面に移ります。



クイックバーンターゲット



Vehicle Setting (ビークルセッティング)

Manufacturer(メーカー名)

Model(車種)

Style(各MAP)

これらを順に選んでいきます。
各項目の青文字をタップします。

クイックバーンセレクト

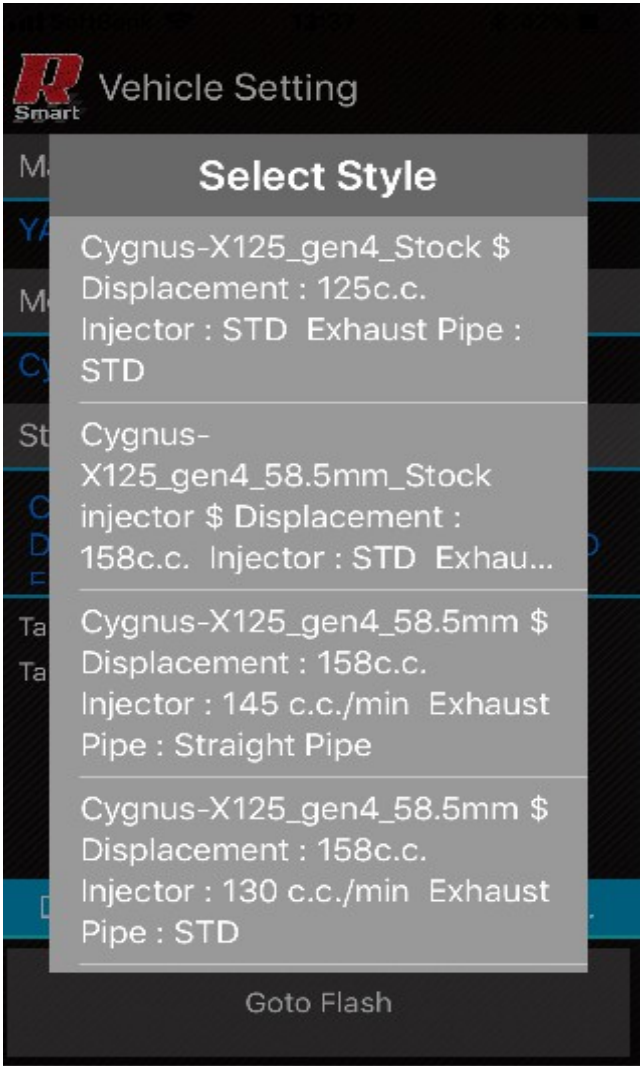
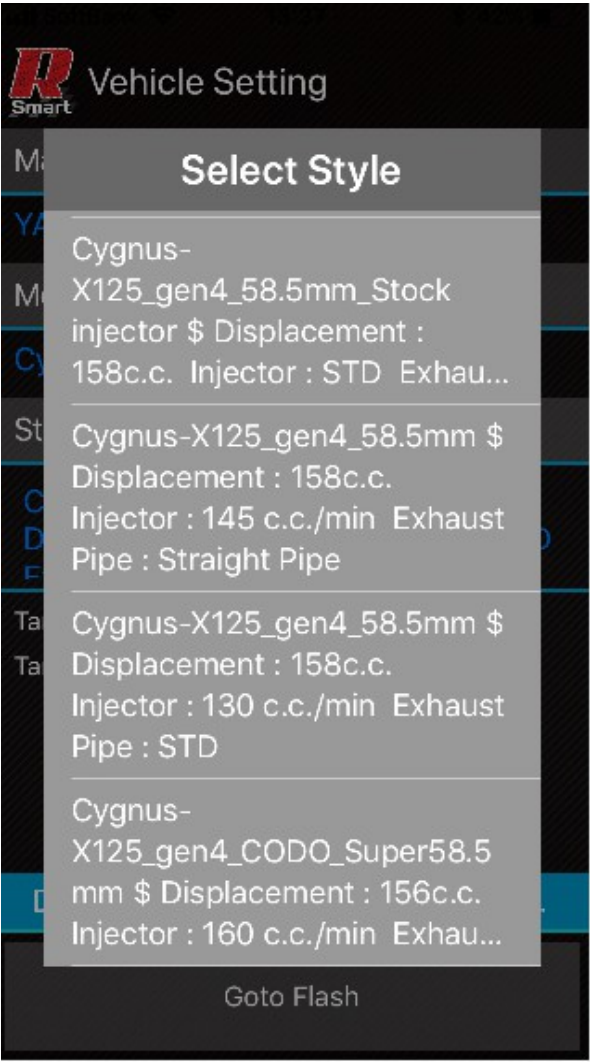
Manufacturer(メーカー名)の画面です。

Model(車種名)の画面です。



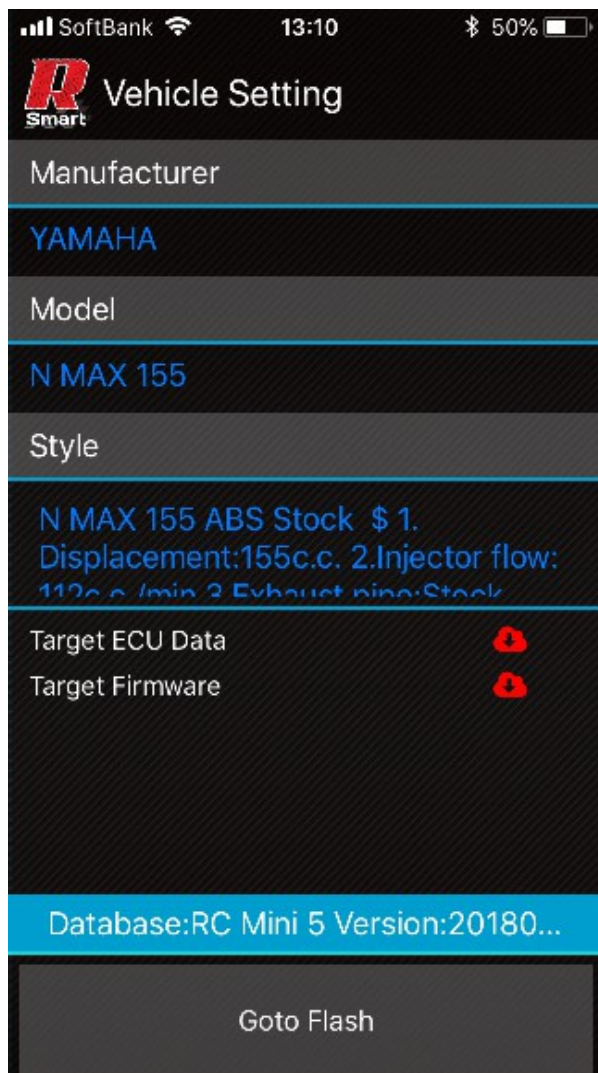
クイックバーンMAP

Style(各MAP)この中より自分のカスタムスタイルに合ったMAPを選びます。
この画面はシグナスXの4型 (gen4)です。



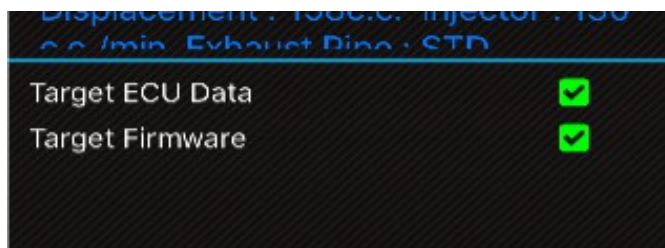
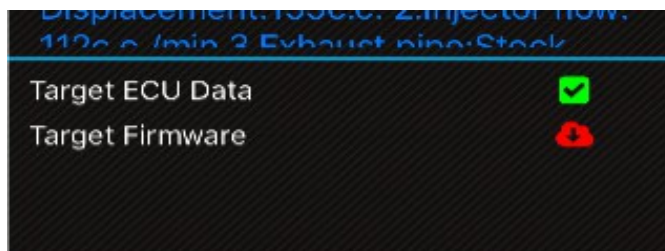
クイックバーンgoto flash

3項目を選んだらいよいよMAPの入れ替えです。



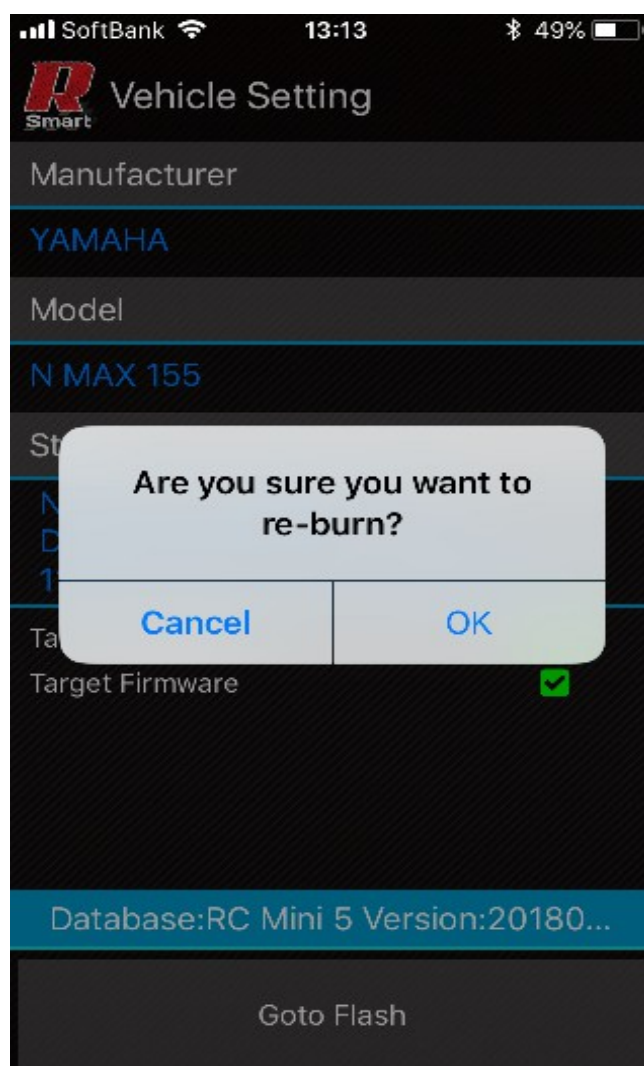
MAPのダウンロード

もし赤色の雲のイラストなら赤い雲をタップしてください
まだスマホにダウンロードされていません。
緑のアイコンに変わり、ダウンロードが完了です。
スマホの機種によっては赤い雲のままgoto flashを
タップ出来る機種もあります。



→メーカー、車種、MAPを選び、ダウンロード確認したら
Goto Flash をタップしてください。

クイックバーンセレクト



OKをタップ。

Are you sure you want to re-burn ?

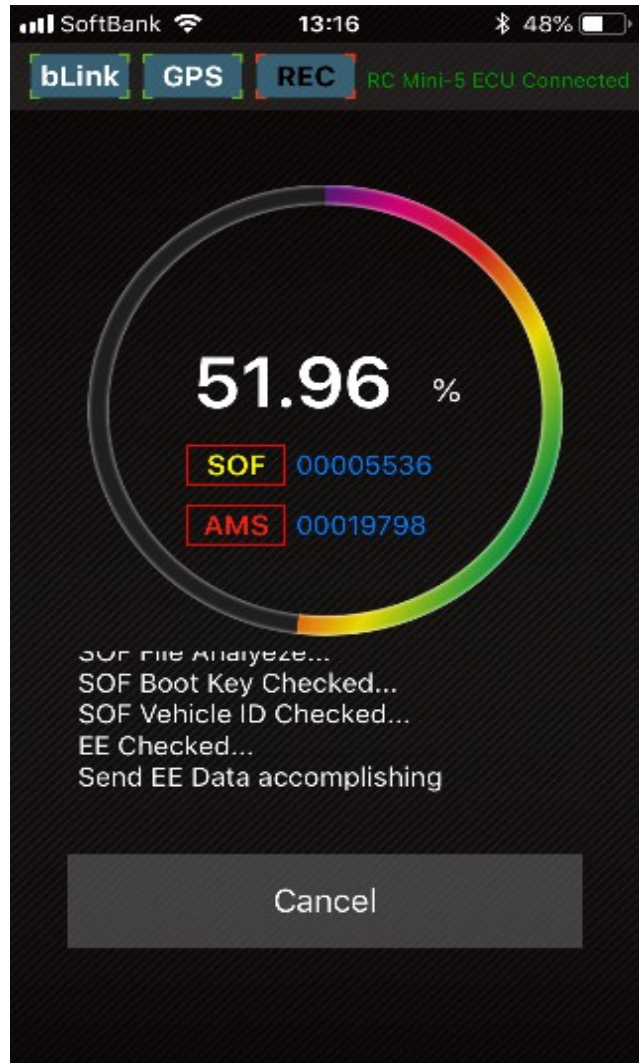
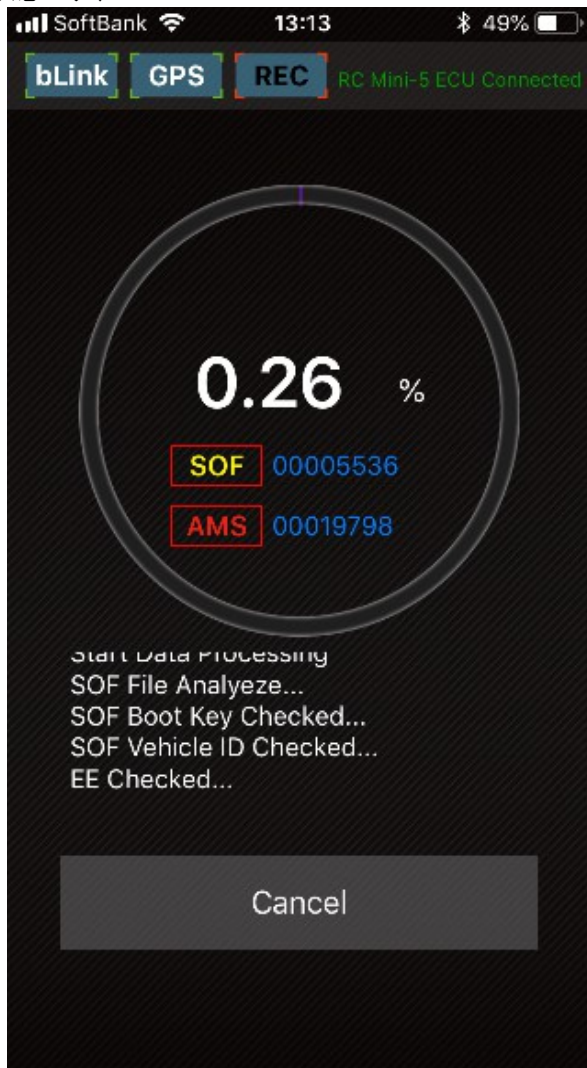
re-burn(インストール)してもよろしいですか？

Aer you sure you want to Canecel barning ?

インストールを中止してもよろしいですか？

クイックバーンセレクト

インストール画面です、プログレスリングが動き出すと同時に、処理割合が表示されます、3～6分ほどかかります。
もし、途中で止まってしまった場合は、初めからやり直してください、スマホの電源が少ない場合や、電波の受信状態が悪い場合などは問題が起きやすいです。
インストールが途中で止まってしまった場合は、エンジンを始動することはできません、ECUにMAPが無い状態です、

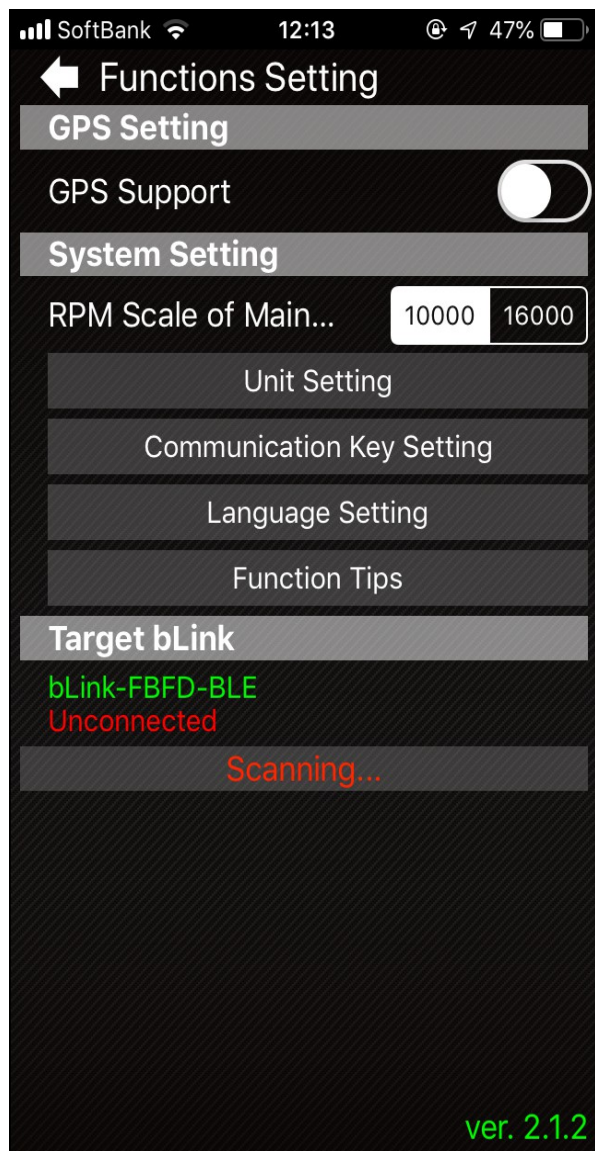


インストールが完了すると、画面は自動的にメイン画面へ切り替わります。

この時bLinkは、一度遮断され再度接続されます。

エンジンを掛ける際には、アイドルソレノイドの開閉位置が、MAPにより異なるため、メインスイッチをONにし、アイドルソレノイドに位置を学習させて、エンジンを始動せずにOFFにします、それから、エンジンを始動します。
これは、車両により、始動直後にアイドル回転数が上がりすぎてしまう事があるので、その防止策です。

セッティング



GPSへ接続ボタン 緑に替わるとONです。

それぞれの文字をタップします。
モニターライト画面のタコメーターのスケール選択

単位の選択(速度、気圧、温度)

セキュリティキーの設定
デフォルトパスワードは 888888 です。

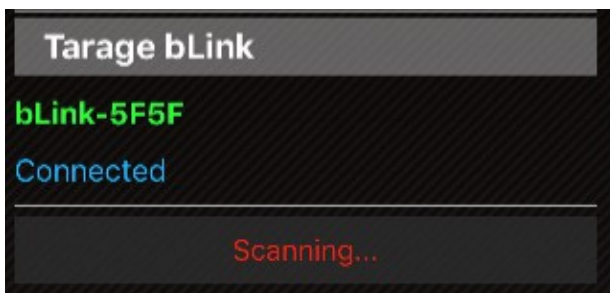
言語の設定
日本語はありません。

使い方の説明

スマホと bLink のペアリング

(初めて車両につなぐ場合)
Scanning の欄にブルートゥース通信機器が表示されます
スマホ、ノートPC、その他無関係なデバイスは除外されます。
その中より bLink を選びます、bLink-0000 をタップすると
上の欄の、Tarage bLink へ移動します、しばらくすると
bLink-0000 の下側にConnected の青文字が表示され、
これで、ペアリング完了です。
サイドメニューから、メイン画面のモニタープロへ移動
してください。

バージョン番号： 新しいファームウェアが配信されると
このバージョン番号が替わっていきます。



Connectedの青文字が表示されればスマホと
ECUが繋がりました。
bLinkは一度接続すると、次からは自動で接続します。
接続しにくい場合はメインスイッチを入れる前に
aRacerのアプリを立ち上げておくとういでしょう。
その他、ブルートゥースによる通信機器を
複数使用している場合などは通信障害が
起こる場合があります。

※ ios とandroid では表示画面が一部異なります。